

<b>授業科目名</b>	情報と分析(2000076)		
<b>時間割名</b>	情報と分析(43204)		
<b>時間割担当</b>	嶋田理博		
<b>実施期</b>	後期	<b>単位数</b>	2 選択
<b>曜日・時限</b>	木・3		

### 授業の目標・概要

現代社会は、インターネットをはじめ、情報通信技術があらゆる分野で活用されている。情報化が我々の生活を快適にしている一方で、自分にとって必要な情報を選び取る能力や、正しい情報を見極める能力が必要となっている。また、グローバル化が進み、多様な価値観に応じて情報を受け取る能力も必要となっている。本講義は、情報化社会において求められる、情報の活用能力を身につけることを目標とする。社会における様々な課題に対して、自ら問題設定を行い、適切な分析手法を選択し検証するための知識と実践力の獲得を目指す。

### 学習の到達目標

- 1) 日常生活あるいは社会で体験する物事に対し、論理的な推論ができるようになる。
- 2) メディアやネット上の情報を批判的に読み取り、その妥当性を議論することができる。
- 3) 多面的・多角的なものの見方ができるようになる。

### 授業方法・形式

事前に学習してきてもらった内容をもとに、講義内で一緒に考え、議論し理解を深める。発展的に考えて欲しいテーマをレポート課題として課す。

### 授業計画

- 第1回 情報とは何か
- 第2回 根拠に基づいて考える
- 第3回 ネット情報を疑う
- 第4回 メディアを疑う
- 第5回 統計を疑う
- 第6回 データの偏り
- 第7回 正しい推論
- 第8回 相関関係
- 第9回 因果関係
- 第10回 因果関係の検証
- 第11回 様々な角度、切り口で物を考える
- 第12回 他文化の理解
- 第13回 ビッグデータと分散処理
- 第14回 人工知能と情報処理
- 第15回 メタ認知

### 成績評価の基準

事前学習の状況(25%)、講義への取り組み(25%)、レポート課題(50%)

### 準備学習・復習及び授業時間外の課題

毎回、次週の講義内容と事前に学習すべき内容を指示する。また、各回の講義内容をふまえたレポート課題を課す。

### 履修上のアドバイス及び留意点

この講義では、何かを記憶することではなく、自分の頭で考えることが重要である。常日頃から疑問を抱き、思考する態度を身につけよう。

### 教材・教科書

必要に応じて資料を配布する。

### 参考書

必要に応じて紹介する。